

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
<p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">2</div> 不登校の子の親（保護者）への支援強化について（1/2）			
<p>趣 旨</p> <p>この6－7年、不登校が激増しています。子どもが学校に行けなくなると、その子を最も支えるのは親（保護者）ですが、子ども本人のみならず、親もどうして良いかわからずにいます。不登校の子どもを支援するためには、教育行政が親を支援する体制が重要と考えます。本市の現状と考えを問います。</p>			
<p>事 項（質問・提案等）</p> <p>■不登校の激増と親支援の重要性について</p> <p>文科省の全国調査によると不登校の子どもは、小学校は2013年度から2020年度に2.8倍に、中学校は1.5倍になっています。向日市でも、小学校は3.2倍、中学校は2.2倍です。また、日本財団の「不登校傾向にある子どもの実態調査」によると、年間欠席数が30日未満の不登校傾向にある中学生は、10人に1人という結果で、不登校または不登校傾向にある子どもを合わせると全体で7.5人に1人となっています。1クラスに4-5人いることとなります。不登校の原因・理由は様々でしょうが、学校が子どもたちにとって息苦しい空間、安心できない場所になっています。</p> <p>子どもたちは不登校になると、多くの場合に学校に行けない自分を責め、自信をなくし、親（保護者）も自分の子どもに対する関わり方が原因と思って苦しみます。子どもが学校に行けなくなると、その子を支える最も大きな役割を果たすのは保護者ですが、子ども本人のみならず、保護者も想定外の事態に驚き、不安にさいなまれ、どうして良いかわからずにいます。ですから不登校の子どもを支援するためには、教育行政は親を支援することが重要です。親に適切な情報を提供し、相談に応じ、ともに連携して子どもへの支援に当たっていくことが求められます。</p> <p>■不登校の子どもをもつ保護者の声</p> <p>不登校の子どもや親への支援について、これまで学校も教育委員会も取り組んで来られたと思いますが、一方で当事者の方々が訴えていらっしゃる声と、相当な開きがあると感じます。「学校からの情報提供はほとんど無かった」「聞いたら教えてくれるが、聞かないと何も教えてもらえない」「不登校になると学校からの案内・情報がぱったりと届かなくなり、放っておかれ感が半端ない」という声をよく聞きます。</p> <p>(1) 教育委員会は、不登校の子どもを持つ親からのこのような声について、どのようにお考えでしょうか。</p>			

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
<p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-left: 100px;"> <p>2 不登校の子の親（保護者）への支援強化について(2/2)</p> </div>			
<p>事 項（質問・提案等）</p> <p>(2) 不登校の子をもつ親に対して、相談・支援の情報を、能動的・積極的に届けることが重要と考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>保護者は、どんな支援が得られるのか情報をもっておらず、どうすれば良いかわからないで孤軍奮闘することが多いのです。情報不足や、家庭環境により、教育相談につながらないケースが多いと思われます。「相談されたら答える」のではなく、能動的・積極的な情報提供が必要だと思ひます。教育委員会の認識と、学校現場の現状について伺ひます。</p> <p>(3) 保護者への支援を教員が行うのは困難です。誰が担うべきでしょうか。</p> <p>教員は、子どもの指導をめぐって親と相談しても、親・家庭への支援の専門家ではありません。不登校の陰には、その家庭が抱える様々な課題が隠れていることも多く、専門機関との連携も必要となります。こうした役割は、現在誰が担っているのですか。また、どうあるべきだと思ひますか。</p> <p>(4) SSW（スクールソーシャルワーカー）の現状について</p> <p>不登校への対応について、SSW（スクールソーシャルワーカー）の役割が重要と言われます。向日市での SSW の配置の現状と、具体的にどのような仕事をされているか、教えてください。</p> <p>また、その SSW の役割を教員や保護者はご存じでしょうか。どのように教員や保護者へ伝えているのか、教えてください。</p> <p>(5) 教育支援センターの設置について</p> <p>「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年 10 月 25 日）において、教育支援センターは、「不登校児童生徒への支援の中核となることが期待される」とされ、「市区町村教育委員会においては、主体的に教育支援センターの整備充実を進めていくことが必要」とされています。教育支援センターを設置して常任の SSW を配置し、不登校だけでなく虐待など、児童生徒を取り巻く環境への働きかけを行う役割はとても重要だと思ひます。本市の取組について伺ひます。</p> <p>(6) 当事者団体・支援団体との連携について</p> <p>親の会など、不登校問題に当事者や支援者として直接関わっている方々の声は、きわめて重要です。こうした方々との意見交換の場を持ち、連携して本市の施策に活かしていただけないでしょうか。</p>			